

新年を迎えずでに1ヶ月経とうとしています。保護者の皆様、本年もよろしくお願いいたします。

さて、3年生はただいま入試のまっただ中です。1月、2月と私立高校入試や県立推薦入試が続き、3月6日（水）、7日（木）には県立高校の一般入試が行われます。将来の夢や自分の適性、そして各高校の教育内容や今の自分の学力等を総合的に判断し、最終的な進路決定をしてほしいと思います。この高校に入学すれば将来が約束されるというような学校はありません。「3年後に、自分が頑張れた、自分を伸ばすことができた」と実感できてはじめてよい進路選択をしたということになります。要は高校入学後の自分次第ということです。志を高く持って前に進んでほしいと願うばかりです。頑張れ、3年生！

「鶏口となるも牛後となるなかれ」

「鶏口となるも牛後となるなかれ」という中国のことわざがあります。鶏口というのはニワトリの口、牛後というのは牛のうしろと書きます。大きな組織の下で他人のあとを追うような人生ではなく、小さくてもよいから先頭にたつような生き方をしなさいという意味です。鶏口よりも牛頭のほうがいいはずですが、牛頭にはなるのは大変だし時間もかかります。頑張り続けるためには、目標は手近なところにおいて達成感を味わうことが大事です。人生の支えとして、自分が人に誇れるものを小さくても一つ持てたこと（ザトウムシの研究）はよかったと思います。

みなさんは自分が誇れるもの、これは打ち込めるというものを何か持っていますか？もうあるという人は是非それをうまく育ててほしいですし、まだないという人は、自分の力を生かせる得意分野を一つでよいので、見つけてください。目標は頑張れば手が届きそうなところに立て、達成感を味わう、そしてそれをまた次の頑張りにつなげる、これが人生を楽しく、生きがいをもって過ごすための大事なコツではないかと思います。これを続けていけば、そのうち、牛頭は無理でも猪の頭くらいにはなれるかもしれません。

さて、学年の最後の3カ月です。時間を有効に使って、大切に過ごしてください。3年生は、いよいよ受験が始まりますが、万全な体調で試験に臨めるように、体調管理に十分気をつけてください。



「国際交流生徒作品展」開催

年が明けた1月9日～16日の期間、とりぎん文化会館1階展示室を会場に、本年度の「国際交流生徒作品展」を開催しました。

イギリスのニューステッドウッドスクールとの交流やスペインのカスカレス中等学校との作品交流を初め、各教科の取り組みを広く学校外の方にも知っていただくために展覧会を開催しています。期間中の来場者は累計321名と、幅広い年齢層の方に附属中学校生徒の作品をご覧頂きました。作品展の印象をアンケートでお聞きしたところ、「大変満足」が49%、「満足」が50%と、好評でした。お寄せいただいたご意見、ご感想をいくつか紹介します。

(作品展全体を通しての感想)

○自分の作品をこういう風に展示してあることがうれしかったです。(本校生徒)

○私はまだ大学を卒業したばかりですが、こんなことを高校や大学でぜひやってみたかったです。特に美術ですとか英語ですとか文章も絵もセンスがよい。絵はレベルが高くてうらやましいくらいです。

(20代女性)

○学校に行って見る機会が少ないので今回沢山見られてうれしかったです。(40代男性)

○外国の文化にふれたり、自分たちの作品が展示されたりすることは、とてもいい経験になると思います。(40代女性)

○子どもたちの通っている学校生活の様子が想像でき、国際人として日本人として学ばせて頂いていることを知りました。ありがとうございました。(40代女性)

○子どもたちの様々な角度からみた作品に感動したり、微笑んで帰ることができました。(50代女性)

○過去2年観賞させていただきました。上級生の方々の作品に接して、「我孫も出来るだろうか?」と思ったものですが、最上級生となった今年「徐々に追いつくのだ」と成長を感じました。ありがとうございました。(60代女性)

○生徒たちの学びの深さが伝わります。次世代へ自信を持って進んでいって欲しいと思います。国際交流を子ども時代から経験していいと思います。(60代女性)



スペインのカスカレス中等学校との作品交流では、2月中に本校作品をカスカレス中等学校に発送予定です。

ニューステッド・ウッド中等学校との交流では、現在1年生26名2年生26名計52名がペンパル交流を行っています。「手紙」という現物のやり取りになるので、手紙を送る、手紙をもらうことを通して、イギリスという外国を身近に感じ、さらに深く知ろうとする生徒が増えました。二年に一度、イギリスの生徒が来校する国際交流で、文通相手と出会うことを通して、さらに意欲的に交流を続けようとする生徒の意欲面での変化もみられます。

